

一般財団法人の役員等変更（辞任等により新たな役員等が就任した場合）

受付番号票貼付欄

一般財団法人変更登記申請書

1. 会社法人等番号 0000-00-000000 分かる場合に記載してください。
1. 名 称 一般財団法人〇〇
1. 主たる事務所 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
1. 登記の事由 評議員，理事，代表理事及び監事の変更
1. 登記すべき事項 別添CD-Rのとおり

登記すべき事項を記録したCD-Rを申請書と共に提出してください。

なお、CD-Rに代えて、オンラインによりあらかじめ、登記すべき事項を提出することもできます。この方法によった場合には、登記すべき事項の提出の際に作成した情報を利用して申請書を簡単に作成することもできますし、手続の処理状況をオンラインで確認することもできます。詳しくは、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)中の関連リンク「登記・供託オンライン申請システムにより登記すべき事項の提出について」を御覧ください。

1. 登録免許税 金10,000円
 (注) 収入印紙又は領収証書で納付します (→収入印紙貼付台紙へ貼付)。
1. 添付書類 (※以下の添付書面は一例です。後添の添付書類一覧を参照してください)
- | | |
|---|-----|
| 定 款 | 1 通 |
| (注) 評議員を選任する場合又は定款の定めに基づく評議員会の決議により代表理事を選定した場合に添付します。 | |
| 評議員会議事録 | 1 通 |
| (注) 評議員の選任について、定款で評議員会以外の機関で行う旨を定めている場合には、その選任機関の議事録を添付します。 | |
| 理事会議事録 | 1 通 |
| 就任承諾書 | 〇通 |
| 理事，監事及び評議員の本人確認証明書 | 〇通 |
| (注) 新たに就任する理事，監事及び評議員（印鑑証明書を添付しない役員）について、住民票記載事項証明書，運転免許証のコピー（裏面もコピーし，本人が原本と相違な | |

い旨を記載して、署名又は記名押印したもの。2枚以上の場合には、合わせてとじて当該書面に押印した印鑑で契印します。)等の本人確認証明書を添付します。

詳しくは、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(http://houmukyo.ku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)中の関連リンク「添付書面としての本人確認証明書について」を御覧ください。

印鑑証明書

○通

(注) 代表理事の就任承諾書に押した印鑑について、再任の場合を除き、市町村長作成に係る印鑑証明書を添付します。

また、評議員会又は理事会の決議により代表理事を選定した場合には、当該議事録等に押印した理事全員(評議員会議事録については議長を、理事会議事録については出席した監事を含む。)の印鑑につき、市町村長作成に係る印鑑証明書を添付します。ただし、当該議事録等に変更前の代表理事が法務局に提出した印鑑と同一のものが押されている場合には、これらの印鑑証明は不要となります。

(辞任の場合) 辞任届

○通

(注) 法務局に印鑑の提出をしている代表理事の辞任による変更の登記の申請書には、辞任届に押印した印鑑につき市町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。ただし、当該代表理事が法務局に提出している印鑑を辞任届に押印しているときは、市町村長の作成した印鑑証明書を添付する必要はありません。

(死亡の場合) 死亡届又は法定相続情報一覧図の写し

○通

(注) 法定相続情報一覧図の写しについては、法務局ホームページ『法定相続情報証明制度』が始まります!」(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/page7_000013.html)を御覧ください。

委任状

1 通

(注) 代理人によって申請する場合にのみ必要です。

上記のとおり、登記の申請をします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 ※1
申請人 一般財団法人〇〇会 ※2

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 ※3
代表理事 〇〇 〇〇 印

〔〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 ※4
上記代理人 〇〇 〇〇 印〕

※1~※4にはそれぞれ、
※1→主たる事務所、
※2→名称、
※3→代表理事の住所、
※4→代理人の住所、
を記載します。

法務局に提出した印鑑を押します。

代理人が申請する場合にのみ記載し、代理人の印鑑(認印)を押します。この場合、代表理事の押印は、必要ありません。

契印

連絡先の電話番号
〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇法務局 〇〇支局 御中
出張所

〈 添付書類例一覧 〉

○ 評議員の就任による変更登記

- a 定款
- b 定款で定めた選任方法に基づき選任がされたことを証する書面（評議員会で評議員を選任する旨を定めている場合は、評議員会議事録）
- c 就任承諾書
- d 評議員の就任承諾書に係る本人確認証明書（評議員の再任の場合には、不要）
 - 本人確認証明書の例
 - ・住民票記載事項証明書（住民票の写し）
 - ・戸籍の附票
 - ・個人番号カードのコピー※
 - ※表面のみコピーし、本人が「原本と相違がない。」と記載して、署名又は記名押印する必要があります。
 - ・運転免許証等のコピー※
 - ※表面及び裏面をコピーし、本人が「原本と相違がない。」と記載して、署名又は記名押印する必要があります。

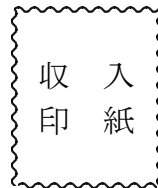
○ 理事、監事又は会計監査人の就任による変更登記

- a 選任に係る評議員会議事録
- b 就任承諾書（会計監査人の自動再任の場合には、不要）
- c 理事及び監事の就任承諾書に係る本人確認証明書（当該理事及び監事の再任の場合には、不要）
 - ただし、登記の申請書に当該理事又は監事の印鑑証明書が添付される場合を除く。
 - 本人確認証明書の例
 - ・住民票記載事項証明書（住民票の写し）
 - ・戸籍の附票
 - ・個人番号カードのコピー※
 - ※表面のみコピーし、本人が「原本と相違がない。」と記載して、署名又は記名押印する必要があります。
 - ・運転免許証等のコピー※
 - ※表面及び裏面をコピーし、本人が「原本と相違がない。」と記載して、署名又は記名押印する必要があります。
- d 会計監査人の就任による変更登記において
 - ① 会計監査人が監査法人の場合には、当該監査法人に係る登記事項証明書
 - ※ ただし、申請する登記所と同一の登記所に当該監査法人の登記がある場合には、登記事項証明書の添付を省略することができます。また、申請する登記所と同一の登記所に当該監査法人の登記がない場合でも、申請書に当該監査法人の会社法人等番号を記載することにより、登記事項証明書の添付を省略することができます。この場合には、以下のように記載します。
 - 登記事項証明書 添付省略
(会社法人等番号 1111-11-111111)
 - ② 会計監査人が公認会計士の場合には、日本公認会計士協会が発行する資格証明書

○ 代表理事の就任による変更登記

- a 理事会の決議により代表理事を選定する場合
 - ・ 理事会議事録
 - ・ 理事会議事録に出席理事及び出席監事が押印した印鑑に係る市町村長作成の印鑑証明書（ただし、理事会議事録に変更前の代表理事が法務局に提出した印鑑と同一のものが押されている場合には、不要）
 - ・ 代表理事の就任承諾書
 - ・ 代表理事の就任承諾書に係る印鑑証明書（再任の場合には、不要）
 - b 定款の定めに基づき評議員会の決議により代表理事を選定する場合
 - ・ 定款
 - ・ 評議員会議事録
 - ・ 評議員会議事録に議長及び出席理事が押印した印鑑に係る市町村長作成の印鑑証明書（ただし、評議員会議事録に変更前の代表理事が法務局に提出した印鑑と同一のものが押されている場合には、不要）
 - ・ 代表理事の就任承諾書
 - ・ 代表理事の就任承諾書に係る印鑑証明書（再任の場合には、不要）
- **評議員、理事、代表理事、監事又は会計監査人の退任による変更登記**
- a 任期満了の場合：定款（任期満了の事実を評議員会議事録等で確認することができない場合）及び評議員会議事録等
 - b 辞任の場合：辞任届
（法務局に印鑑を提出した代表理事の辞任の場合には、当該代表理事の実印を押印し市町村長作成の印鑑証明書を添付、又は、辞任届に当該代表理事が法務局に提出した印鑑を押印）
 - c 解任の場合：定款（評議員会の解任の場合のみ）及び解任に係る評議員会の議事録等
 - d 資格喪失の場合：欠格事由に該当することを証する書面（理事の地位を失うことによる代表理事の資格喪失については、添付書面は、不要となります。）
 - e 死亡の場合：親族からの死亡届等

収入印紙貼付台紙



(注) 割印をしないで貼ってください。

契
印

登記申請書（収入印紙貼付台紙を含む。）が複数ページになる場合は各ページのつづり目に契印する必要があります。契印は、登記申請書に押した印鑑（代表理事が法務局に提出した印鑑又は代理人の印鑑）と同一の印鑑を使用する必要があります。

登記すべき事項を電磁的記録媒体に記録して提出する場合の入力例

「役員に関する事項」
「資格」 評議員
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 評議員
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 評議員
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 代表理事
「住所」 ○県○市○町○丁目○番○号
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 理事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 理事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 辞任
「役員に関する事項」
「資格」 理事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 退任
「役員に関する事項」
「資格」 監事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 重任
「役員に関する事項」
「資格」 理事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 就任
「役員に関する事項」
「資格」 理事
「氏名」 ○○○○
「原因年月日」 平成○○年○○月○○日 就任

(注) 1 登記事項を記録したCD-Rを提出する場合は、記録した内容を別途印刷して添付する必要はありません。その場合には、登記すべき事項は、「メモ帳」機能等を利用してテキスト形式で記録し、ファイル名は「(任意の名称).txt)」としてください。

詳しい電磁的記録媒体の作成方法は、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)中の関連リンク「登記すべき事項を記録した電磁的記録媒体（CD-R等）の提出について」を御覧ください。

2 登記すべき事項をオンラインによりあらかじめ提出する場合には、登記すべき事項の提出の際に作成した情報を利用して、申請書を簡単に作成することもできますし、手続の状況をオンラインで確認することもできます。詳しくは、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)中の関連リンク「登記・供託オンライン申請システムにより登記すべき事項の提出について」を御覧ください。

評議員会議事録の例

(一例です。法人の実情に合わせて、作成してください。)

定時評議員会議事録

平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇時〇分から、当法人の主たる事務所において、定時評議員会を開催した。

総評議員数		〇名
出席評議員数		〇名
出席理事	〇〇 〇〇	(議事録作成者)
	〇〇 〇〇	
	〇〇 〇〇	
出席監事	〇〇 〇〇	
出席評議員	〇〇 〇〇	
	〇〇 〇〇	
	〇〇 〇〇	

以上のとおり評議員の出席があったので、定款の定めにより出席した評議員の中から選ばれた評議員〇〇 〇〇は議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 平成〇〇年度事業報告及び決算の承認に関する件

議長は、当期（自平成〇〇年〇〇月〇〇日至同年〇〇月〇〇日）における事業状況を事業報告及び附属書類により詳細に説明報告し、下記の書類を提出して、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- 1 貸借対照表
- 2 損益計算書（正味財産増減計算書）
- 3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議案 評議員、理事及び監事の改選に関する件

議長は、評議員全員、理事〇〇 〇〇及び〇〇 〇〇並びに監事〇〇 〇〇が本定時総会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要があるとともに、辞任の申出があった理事〇〇 〇〇の後任者の選任が必要となる旨を述べ、その選任方法を諮ったところ、出席評議員中から議長の指名に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、下記の者を指名し、この者につきその可否を諮ったところ、満場異議なくこれに賛成したので、下記のとおり可決確定した。

評議員	住所	〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
	氏名	〇〇 〇〇
同	住所	〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
	氏名	〇〇 〇〇
同	住所	〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
	氏名	〇〇 〇〇
理事	住所	〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
	氏名	〇〇 〇〇
同	住所	〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
	氏名	〇〇 〇〇

同 住所 ○県○市○町○丁目○番○号
 氏名 ○○ ○○
 監事 住所 ○県○市○町○丁目○番○号
 氏名 ○○ ○○

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

【次の第3号議案は、評議員会で代表理事を定めた場合に必要となります。】

第3号議案 代表理事の任期満了に伴う改選に関する件

議長は、今般代表理事○○ ○○が理事の任期満了により代表理事の資格を喪失し、退任することになるので、当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、その選定方法を諮ったところ、出席評議員中から議長の指名に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、下記の者を指名し、この者につきその可否を諮ったところ、満場異議なくこれに賛成したので、下記のとおり可決確定した。

代表理事 住所 ○県○市○町○丁目○番○号
 氏名 ○○ ○○

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

契
印

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前○時○分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事がこれに記名押印する。

平成○○年○○月○○日

一般財団法人○○定時評議員会

議長	評議員	○○	○○	印
	代表理事	○○	○○	印
	理事	○○	○○	印
	同	○○	○○	印

- (注) 1 議事録が複数ページになる場合は各ページのつづり目に契印してください。契印は、議事録署名者のうち1名の契印で構いません。
- 2 評議員会で代表理事を定めた場合、代表理事の印鑑は、当該代表理事が法務局に提出している印鑑を押してください。法務局に印鑑を提出した代表理事が出席していない場合等、法務局に提出している印鑑を押すことができない場合には、署名義務者全員の実印を押印し、全ての印鑑について市町村長が作成した印鑑証明書を添付することが必要になります。
- 3 役員及び評議員が評議員会の席上で就任を承諾し、その旨の記載がされるとともに当該被選任者の住所の記載がある議事録は、就任承諾書に代わるものとして取り扱うことができ、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、評議員会議事録の記載を援用する。」等と記載してください。

理事会議事録の例

(理事会において代表理事を選定した場合の一例です。法人の実情に合わせて、作成してください。)

理事会議事録

平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇時〇分、当法人の主たる事務所において、理事〇名（総理事数〇名）及び監事〇〇 〇〇出席のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午前〇時〇分散会した。

1 代表理事選定の件

理事〇〇 〇〇は選ばれて議長となり、今般、代表理事〇〇 〇〇が理事の任期満了により代表理事の資格を喪失し、退任することになるので、改めて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

代表理事 住所 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
氏名 〇〇 〇〇

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席理事及び監事の全員がこれに記名押印する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般財団法人〇〇理事会

代表理事	〇〇	〇〇	印
理事	〇〇	〇〇	印
同	〇〇	〇〇	印
監事	〇〇	〇〇	印

- (注) 1 代表理事の印鑑については、当該代表理事が法務局に提出している印鑑を押してください。登記所に印鑑を提出した代表理事が出席していない場合等、法務局に提出している印鑑を押すことができない場合には、署名義務者全員の実印を押印し、全ての印鑑について市町村長が作成した印鑑証明書を添付することが必要になります。
- 2 理事会の席上で代表理事が就任を承諾し、その旨の記載がされるとともに当該代表理事の住所の記載がある議事録は、就任承諾書に代わるものとして取り扱うことができ、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、理事会議事録の記載を援用する。」等と記載してください。
- 3 理事会に出席した監事は、理事会議事録に記名押印する必要があります。なお、監事についても、前記1後段の場合には、理事と同様の取扱いとなります。

辞任届の例

辞 任 届

私は、この度、一身上の都合により、貴法人の理事を辞任したく、お届けいたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇 〇〇 印

一般財団法人〇〇 御中

(注) 法務局に印鑑の提出をしている代表理事の辞任による変更の登記の申請書には、辞任届に押印した印鑑につき市町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。ただし、当該代表理事が法務局に提出している印鑑を辞任届に押印しているときは、市町村長の作成した印鑑証明書を添付する必要はありません。

死亡届の例

死 亡 届

貴法人の理事〇〇〇〇は、平成〇年〇月〇日に死亡しましたので、お届けいたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
長男 〇〇 〇〇 印

一般財団法人〇〇 御中

就任承諾書の例

就 任 承 諾 書

私は、平成〇〇年〇〇月〇〇日開催の貴法人評議員会において、貴法人の理事に選任されたので、その就任を承諾します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇 〇〇 印

一般財団法人〇〇 御中

(注) 1 監事及び評議員についても同様に作成します。

2 理事、監事及び評議員の就任承諾書に押す印鑑は、認印でも差し支えありませんが、再任の場合を除き、就任承諾書に記載した氏名及び住所と同一の氏名及び住所が記載された住民票記載事項証明書、運転免許証のコピー（裏面もコピーし、本人が原本と相違ない旨を記載して、署名又は記名押印したもの。2枚以上の場合には、合わせてとじて当該書面に押印した印鑑で契印します。）等の本人確認証明書を添付します。ただし、登記の申請書に当該理事又は監事の印鑑証明書が添付される場合を除きます。

詳しくは、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)中の関連リンク「添付書面としての本人確認証明書について」を御覧ください。

代表理事の就任承諾書の例

就 任 承 諾 書

私は、平成〇〇年〇〇月〇〇日開催の貴法人理事会において、貴法人の代表理事に選任されたので、その就任を承諾します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇 〇〇 印

一般財団法人〇〇 御中

(注) 新たに就任する代表理事の就任承諾書には、市町村長の作成した印鑑証明書と同一の印鑑を押す必要があります（再任の代表理事については、認印でも差し支えありません。）。

委任状の例

委 任 状

私は、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号〇〇 〇〇を代理人に定め、下記の権限を委任する。

記

- 1 当法人の評議員，理事，代表理事及び監事の変更登記の申請をする一切の件
- 1 原本還付の請求及び受領の件 (※₁)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

一般財団法人〇〇

代表理事 〇〇 〇〇 印 (※₂)

※₁ 原本の還付を請求する場合に記載します。

※₂ 当該代表理事が法務局に提出している印鑑を押します。